

緊急・重要

平成23年3月18日

被災地で救援活動をされている方々への重要な情報提供

社団法人日本画像医療システム工業会
安全性委員会

東北関東大震災の被災地にて救援・救護活動をなされている方々へ、社団法人日本画像医療システム工業会安全性委員会から重要な情報をお知らせいたします。

被災地の医療施設では、MR装置が破損している可能性が高いと思いますので、次の事項に注意して頂けるように徹底をお願い致します。

- ・医療関係施設に到着したら、MR装置の有無を確認してください。
- ・あった場合は、入手できる材料で警告表示（下記のとおり）をしてください。
- ・これは、自身の安全を図るのみならず、災害復旧に携わる全ての人々の安全を確保するためです。

MR装置があった場合の対応

装置から5m以上離れた位置に

「強力な磁石による金属物の飛翔・吸着に警戒。近寄るな。」

を表示してください。

MR装置への注意点

電気が供給されていなくても、強力な磁石として機能しているので、金属物を絶対に近接させないで下さい。

近接させると、MR装置に向かって金属物が飛んで、近傍にいる人に怪我を負わせる可能性があります。

磁石の有無の簡易確認方法

- ①作業者は身に付けている金属物を全て外してください。
- ②金属製のボールペンや釘など小さくて軽い金属を糸等で吊して磁石の有無を確認してください。磁石があれば磁石の方向に金属が引っ張られます。

(アルミニウム、一部のステンレスは元々磁石に着かないので使用しないこと。)

以上